

常任委員会の審査概要

総務委員会

〔議案〕令和3年度松浦市一般会計 予算（関係分）

（歳入）市の収支のうち、収入に当たる歳入額が172億4900万円
で議決されました。

主な構成として、市民税や固定資産税などの市税が約49億400万円（28・4％）、国から地方公共団体への交付金である地方交付税が約39億円（22・6％）、国や県からの支出金（負担金、補助金、委託金）が約39億6900万円（23・0％）、市の貯金にあたる基金からの繰入金が約8億7500万円（5・1％）、市の借金にあたる市債が約12億8000万円（7・4％）となっています。また、寄附金が約9億4000万円（5・4％）計上されており、これは主にふるさと納税による収入を見込み額として計上されています。

（歳出）本市への定住を促進する定住促進支援事業として、新規転入者や市内在住者のマイホーム取得奨励事業などとして1696万8千円、就労や結婚などにより新たな生活を始める者を応援する新生活応援事業などとして3059万円、防災行政

無線デジタル化事業として4億3965万5千円などについて計上され、いずれも事業遂行に必要な経費の計上と認められるものであり、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

〔議案〕松浦市職員の特殊勤務手当 に関する条例の一部改正について

国家公務員の新型コロナウイルス感染症特殊勤務手当の特例措置が講じられたことに伴い、本条例の一部を改正するものであり、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

〔議案〕松浦市国民健康保険税条例 の一部改正について

国民健康保険税の税率・税額を改定することに伴い、本条例の一部を改正するものであり、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

〔議案〕松浦市手数料条例の一部改 正について

介護保険法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正するものであり、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

文教厚生委員会

〔議案〕令和3年度松浦市一般会計 予算（関係分）

○ウッズスタート事業について

地域の木や森林、自然などへの触れ合いを通じて、豊かな心を育てる木育の推進に取り組むため、ウッズスタート事業委託料として、521万4000円の予算が計上されました。

この委託料の内訳としては、木育普及啓発活動事業および松浦で開催される木育キャラバン事業が予定されています。

○インフルエンザ予防接種について

市独自の施策として、生後6カ月から小学6年生までを対象に実施していたインフルエンザ予防接種の助成対象を高校3年生までに拡大し、早期に疾病のまん延を防止するとともに、さらなる保護者の負担軽減を図る目的として、子どもインフルエンザ予防接種助成費1199万6200円の予算が計上されました。

対象者は、生後6カ月から高校3年生まで。助成額としては、接種費用4200円のうち、今までは本人負担額が1500円だったが、令和3年度から1000円に変更となるため、助成額は3200円となります。

○JCHO松浦中央病院について

JCHO松浦中央病院が令和3年度開設予定の耳鼻咽喉科の診療機器購入に対して一部補助を行うための補助金として、300万円の予算が計上されました。

なお、診療予定日は、毎週月曜日・木曜日の午前中となっています。また、耳鼻咽喉科の医師については、佐賀大学医学部から派遣されます。

○医療費助成について

乳幼児から高校生までの子ども・ひとり親家庭などの父母を対象として、1カ月・1医療機関ごとに1600円の自己負担額を超える医療費（薬局分については全額）を助成するための医療費助成事業として、3800万6000円の予算が計上されました。

この助成事業の内容としては、乳幼児・ひとり親家庭等医療費、小・中学生医療費、高校生等医療費、乳幼児医療費助成事業審査支払業務委託料となっています。

○元寇のいきり引き揚げ事業について

クラウドファンディングおよび国庫補助制度などを活用し、平成25年に鷹島神崎沖で発見された「木製のかり」を引き揚げ的事业として、1565万3000円の予算が計上されました。

なお、いきり引き揚げは、令和3年度秋以降の予定です。